

指定管理者による公の施設の管理運営状況(令和6年度分)

施設名	点字図書館	所管課	健康福祉部福祉局障害政策課
指定管理者名	(社福)群馬県社会福祉事業団及び (公社)群馬県視覚障害者福祉協会の共同体	指定期間	5 年
利用料金制	☐ 導入 ☐ 一部導入 ☒ なし		R4.4.1 ~ R9.3.31

※利用料金制とは施設の利用に係る料金を指定管理者の収入として収受させる制度。「一部導入」は利用料金制を導入しているが指定管理料を支出している施設

1 施設の概要

施設所在地	前橋市新前橋町13番地12(群馬県社会福祉総合センター3階)
指定管理業務内容	・点字図書・視覚障害者用録音物の製作・収集及び視覚障害者への貸出 ・点訳・音訳奉仕員の養成 ・点字図書・視覚障害者用録音物の普及・奨励及び相談

2 職員の状況(令和6年4月現在)※主に指定管理業務に従事する職員数

通常(フルタイム)の職員:	6 人	合計:	8 人
短時間雇用の職員:	2 人		

3 収支の状況(令和6年度決算額)

(円)

収 入		支 出	
指定管理料	40,230,000	人件費	34,531,972
その他(受託料収入等)	807,937	委託料	109,300
その他(寄付金収入、雑収入)	1,921,910	光熱水費	0
		租税公課費	95,270
		その他(事業費、事務費)	6,674,080
収入合計	42,959,847	支出合計	41,410,622

※指定管理者の指定管理業務等及び自主事業に係る収支を記入(指定管理者団体全体の収支ではない。)

4 利用の状況

	令和6年度(実績)	(参考)令和5年度(実績)	(参考)令和4年度(実績)
①年間利用者数(人)	8,565	8,682	8,332
②使用料収入(円) (県納付額)	0	0	0
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	0	0	0

5 施設における実施事業の状況

事業・イベント名	開催日	参加者数	内容	参加者の感想等
点訳奉仕員養成講座	5/15~7/1/29 (全16回+通信添削)	29人	点訳基礎理論と実践	点字の読み書きを学ぶことができた。わかりやすい資料製作を目指したい。
音訳奉仕員養成講座	5/14~7/3/19 (全25回)	17人	音訳基礎理論と実践	利用者にわかりやすい音訳図書の製作に励みたい。
利用者と奉仕者の集い 感謝状贈呈式(まゆだまネットフェスタ同時開催)	7月27日	32人	図書製作奉仕員への感謝状贈呈	今後も奉仕活動に励みたい。
まゆだまネットフェスタ2024	7月27日	来場者数536人 体験者数延3,088人	関連団体と連携し各団体の支援内容、視覚障害者を取り巻く環境を紹介	視覚障害者支援について幅広く知ることができた。防災についても学ぶことができた。

体験会の実施	①4/26、6/17、8/23、10/21、12/20、2/21 ②9/27～10/5 ③10/3 ④10/7 ⑤2/11 ⑥2/14 ⑦3/3	①9人、15人、6人、10人、6人、4人 ②189人 ③35人 ④11人 ⑤27人 ⑥22人 ⑦15人	①「ICT講習会」(zoom併用)(全6回開催) ②「みんなとつながる上毛かるた」展 ③「みんなとつながる上毛かるた」体験会 ④「初めての白杖」 ⑤「点字付きかるた体験会」 ⑥「シネマデージーの音声ガイドを聴きながら映画を楽しむ体験会」 ⑦「スマートフォンアプリを使用して、音声ガイド対応のDVD映画を鑑賞する体験会」	①さまざまな情報機器について知ることができた ②ゆっくり触れながら鑑賞できた ③さまざまな新しい遊びを楽しめた ④白杖の選び方を知ることができた ⑤百人一首の歌とゲームを楽しめた ⑥音声解説により、より映画の内容がわかった。 ⑦スマートフォンアプリの操作方法を確認できた。今度は映画館で試してみたい。
企画展示の実施	①9/27～10/23 ②12/23～2/4 ③2/14～2/27		県内市町村公共図書館にて、連携展示 ①渋川市立図書館 ②前橋市立図書館 ③邑楽町立図書館	

6 利用者満足度調査等の結果及び対応状況

(実施期間)

令和 6年 9月 1日～ 10月 31日

(実施方法・回収率等)

調査対象は、当館利用登録者のうちメール送信可能者・1年以内に当館を利用した利用者から無作為抽出した217人であり、うち110人から回答を得た(回答率50.9%)。

(項目別回答集計)

①利用した資料媒体(複数回答)①点字図書38 ②点字雑誌10 ③テープ図書11 ④テープ雑誌4 ⑤デージー図書68 ⑥SDカード37 ⑦デージー雑誌42 ⑧シネマデージー・音声解説CD25 ⑨テキストデージー7

②資料はどのように選んだか(複数回答)①群馬点字図書館だよりから48 ②点字図書館職員に探してもらった57 ③テレビ・ラジオの情報から21 ④雑誌の情報から8 ⑤友人などのすすめ18 ⑥その他12

③「本・資料の貸出」以外の点字図書館のサービスで利用したもの(複数回答)①プライベート・リクエスト・コピーサービス23 ②デージー再生機の貸出18 ③点字図書館主催の催し46 ④点字図書館HP閲覧20 ⑤相談33 ⑥サピエ図書館に関すること17 ⑦利用なし27

④点字図書館サービス満足度 ①満足79 ②ほぼ満足25 ③やや不満足4 ④不満足2

⑤点字図書館職員の対応 ①良い92 ②ほぼ良い18 ③あまり良くない0 ④悪い0

(利用者からの意見等)

・年間通して、バランスよく図書館行事を計画してほしい。ほかの団体の行事と重ならないようにしてほしい。

・視力低下が進み、スマホが使いにくくなり困っている。iPhoneのボイスオーバーやアンドロイドの同様の機能を使ってみたい。音声パソコンの使い方を学びたい。

・デージーのケースでゴムひもは開けにくいので、なるべくゴムでないケースを希望

(調査結果分析)

・サービスの満足度「満足」「ほぼ満足」が95%、職員の対応は「良い」「ほぼ良い」が100%で概ね良好である。

・製作資料のリクエストが寄せられた。

・催し物・体験会の開催要望があった。

(調査結果への対応状況)

各種事業の開催・情報機器の紹介・操作研修会などについて要望があった。利用できるサービスについて、知らないために出された要望もあったため、お知らせなどで周知していく。今後も利用者からの情報収集に努め、反映していくよう努力したい。

(その他苦情・要望等及びその対応状況)

特になし

注) 項目は例示であり、調査等の状況に応じて、任意様式で同様の内容を記載して構わない。

7 管理運営状況の評価（A:優良、B:良好、C:要努力、D:要改善）

評価項目	総合評価	評価の考え方	評価できる事項及び改善すべき課題
総合評価	A	おおむね事業計画、仕様書等どおりの成果、実績があり、かつ施設の設置目的及び指定管理業務の目標達成に向けて非常に努力している。	<評価できる事項> 体験会の実施方法を工夫したり、新たな企画展示に積極的に取り組んだりするなど、利用者増加に向けて努力している。 <改善すべき課題> 引き続き奉仕員の養成に注力されたい。

（個別項目ごとの評価）

評価項目	評価
平等利用の確保	A
サービスの提供内容	B
管理費用の執行状況	A
管理運営体制	A
法令遵守等	A
労働条件評価の実施	無

評価項目	評価
利用者対応	A
地域貢献	A
環境問題への取組	B
防災対策及び緊急時の対応	A
個人情報保護及び情報公開	A

（参考）指定管理者の自己評価及び評価委員会の年度評価結果

	総合評価	評価の考え方
指定管理者の自己評価	A	点字図書館啓蒙のため、市町村公共図書館との連携を具体的に始めた（初年度3か所開催）。参加型イベントの増加を目指し、今年度も多くの体験の機会を提供できた。点字図書館の根幹となるサービスの充実はもちろんのこと、それ以外の情報についても、ユーザーの求めるもの、新しく、有用なものを紹介するため、アンテナを高くして参りたい。
評価委員会の年度評価	A	おおむね事業計画、仕様書等どおりの成果、実績があり、かつ施設の設置目的及び指定管理業務の目標達成に向けて非常に努力している。

注）「個別項目ごとの評価」の評価項目は、施設及び利用の形態に応じて、選定時の審査項目、仕様書・事業計画等と整合性を持った項目を設定する。